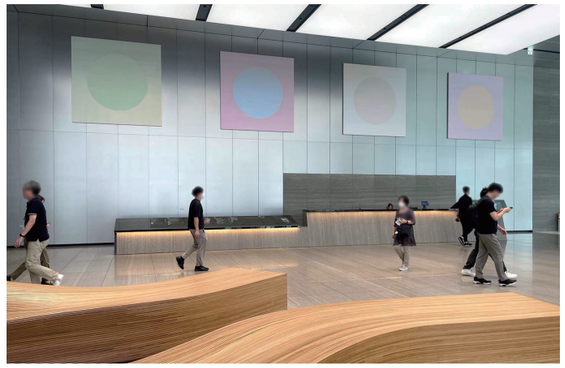
BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S



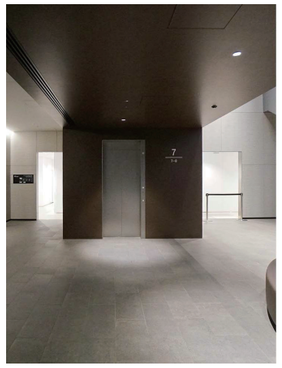
外観

都市と自然をつなぐ、国家戦略特別区域計画の特定事業である「BLUE FRONT SHIBAURA」のツインタワーのうち南側の1棟目「TOWER S」が、2025（令和7）年9月に開業。オフィス・ホテル・商業施設で構成されている。



オフィスロビー

7～33Fはオフィスおよびオフィスサポートフロア。オフィスロビーは、淡いパステルカラーを用いたアートと木のオブジェが印象的な、開放感あふれる空間となっている。

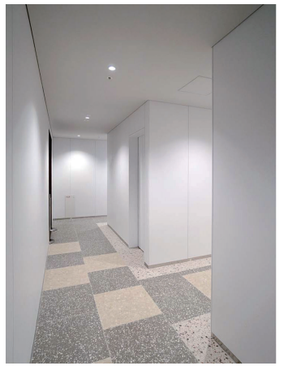


7F だれでもトイレ 入口





だれでもトイレには、男女共用個室を11室用意。各個室の利用状況は、トイレ入口の案内板にランプ表示で把握できるようになっている。また、同フロアの別の場所に、男女別トイレも設けている。



7F だれでもトイレ 入口



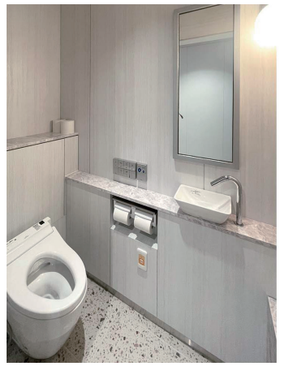
だれでもトイレへの出入口を3ヶ所設け、利用者同士の鉢合わせが少なくなるように、各個室を風車（かざぐるま）形状に配置し、4つの通路を設けた回遊ができるレイアウトを採用。一角には、全身鏡を設置している。

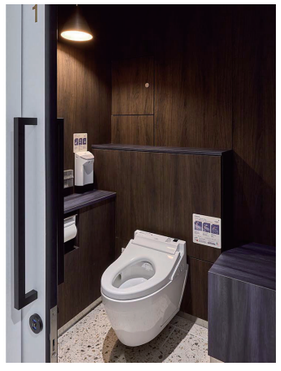




7F だれでもトイレ
男女共用個室

施設のコンセプトである「TOKYO&NATURE」にあわせた内装。自分好みの落ち着くトイレを見つけて欲しいとの思いを込め、個室内装はすべてデザインを変え、設備などの機能も分散させている。





7F だれでもトイレ
男女共用個室

一部には、腰掛けたり、荷物を置くことができるようベンチを備えた個室を用意。介助者や同伴者、性的マイノリティの方など、だれでも使いやすいように配慮している。



7F だれでもトイレ
男女共用個室

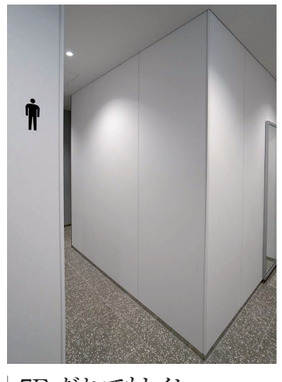


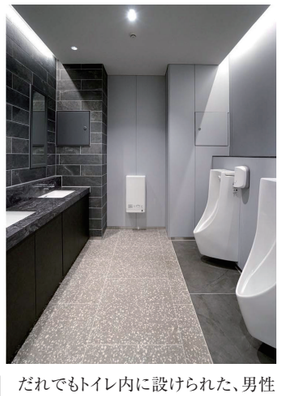
1ヶ所は、オストメイトの方に配慮して、コンパクトオストメイトパックを設置した個室。利用者は、適宜必要な設えや気分にあわせて、個室を選択できるようになっている。



7F だれでもトイレ
バリアフリートイレ

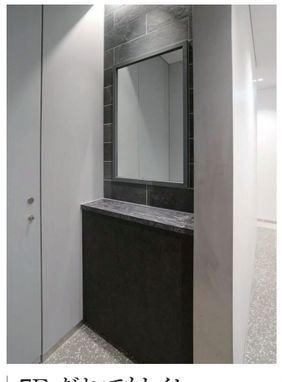
1ヶ所は、車いす使用者やオストメイトに配慮して、汚物流しを備えたコンパクト・バリアフリートイレパックを設置。バリアフリートイレの入口には、サインを表示している。





7F だれでもトイレ
男性専用エリア

だれでもトイレ内に設けられた、男性専用エリア。小便器と洗面器、クリーンドライ（ハンドドライヤー）、スタイリングコーナーが設置され、入口には、男性の形をしたピクトグラムを掲示しガイドしている。

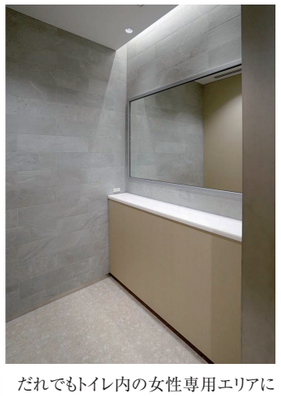


7F だれでもトイレ
男性専用エリア

男性専用エリアにも、カウンターと鏡を備えたスタイリングコーナーを設置。周囲の視線を気にせず身繕いができる。



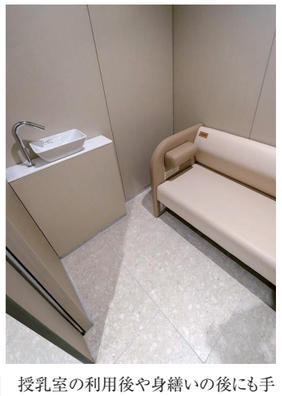
7F だれでもトイレ
女性専用エリア



だれでもトイレ内の女性専用エリアには、スタイリングコーナーと洗面コーナー、授乳室を設置。入口には、授乳室やスタイリングのピクトグラムを掲示している。



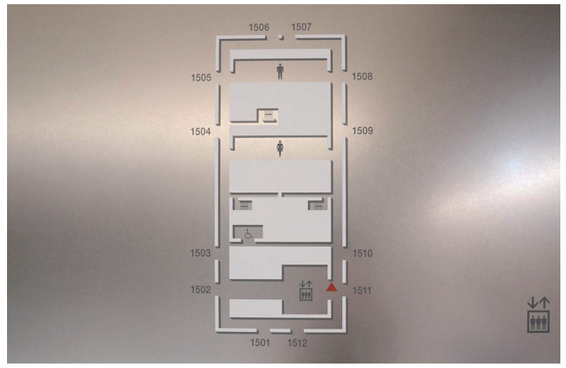
7F だれでもトイレ
女性専用エリア



授乳室の利用後や身繕いの後にも手洗いできるよう、洗面コーナーを設置。授乳室には、手洗器と椅子が用意されている。

2026.05 作成　無断複製・転載禁止 ©TOTO LTD. 2026 All Rights Reserved 21338

BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S



基準階 フロア全体図

1フロア1500坪の広さを誇り、開放的な眺望と自由なレイアウトが可能なオフィスフロア基準階。トイレは、自席から男女別トイレが遠いケースがあるため、性別問わず利用可能なだれでもトイレを分散して設置している。



基準階 トイレ入口

左側にバリアフリートイレ、右側に性別問わず利用が可能な、だれでもトイレを配置。さらに、入口に前室を設け、入退室時の周囲の視線などに配慮している。



基準階
バリアフリートイレ

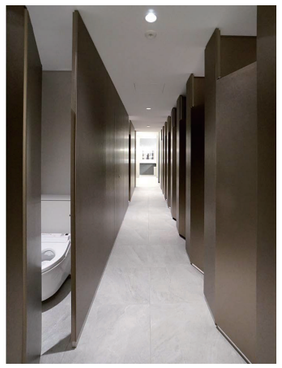
バリアフリートイレには、車いす使用者やオストメイトに配慮して、汚物流しを備えたコンパクト・バリアフリートイレパックを採用。実際に、車いす使用者のワーカーが利用されている。



基準階 だれでもトイレ

利用者を限定せず、だれでも使用できる男女共用個室のだれでもトイレを設置。近くにパントリーがあり、ついでの利用ができるため、男女問わず気兼ねなく使用されている。





基準階 女性トイレ
入口・全体

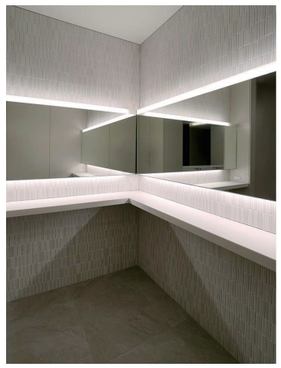
洗練されたグレーとトープカラーのハーモニーが織りなす内装デザインが、上質な高級感を演出。大便器ブースの扉は、空室時25度の角度で止まるように設定され、ブース内が丸見えにならないよう配慮している。





基準階 女性トイレ
洗面コーナー

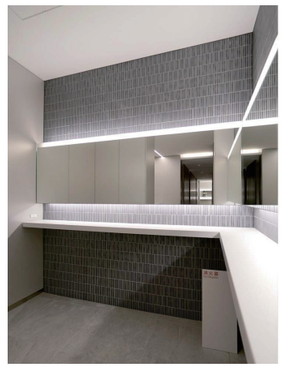
洗面コーナーには自動水栓と自動水石けん供給栓を設置。清掃効率の最適化と管理負担軽減を図るため、IoTを活用した「TOTO CONNECT PUBLC」を採用。対面する壁面には、小物入れを後付けできる下地を備えている。





基準階 女性トイレ
スタイリングコーナー①

入口が2ヶ所あるため、入室した方向がわかりやすいよう、タイルを色分けし、認識しやすくしたスタイリングコーナー。ライトカラーのスタイリングコーナー①は、十分な広さを確保し、コンセントも備えている。





基準階 女性トイレ
スタイリングコーナー②

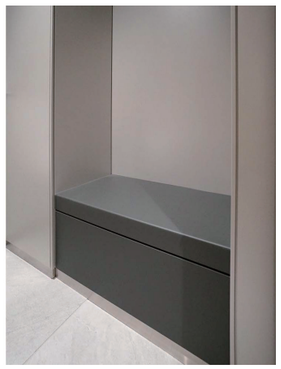
スタイリングコーナー②は、ダークトーンのモザイクタイルの壁面とライン状の間接照明との組み合わせが印象的。モダンで洗練された、高級感あふれるスタイリング空間を演出している。



基準階 女性トイレ
大便器ブース

大便器は床の清掃性がよく、連続洗浄可能な壁掛大便器セット・フラッシュタンク式を設置。ボタンを押すたびに発電し、電源工事や乾電池の交換が不要なエコリモコンを採用。1ヶ所は手すり付きの仕様としている。





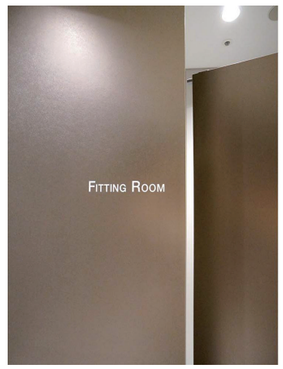
基準階 女性トイレ
セルフケアブース

セルフケアブースを3ヶ所用意。そのうち1ヶ所は、ベンチ付きの仕様で、座っての休憩や尿・便パットやおむつ着用者の荷物などを置く場所としても活用でき、ハンデを抱えている方など、さまざまな行為に配慮している。



基準階 女性トイレ
セルフケアブース

セルフケアブースのうち、2ヶ所は用を足すために必要な設備のほかに、手洗器を設置した鏡やフィッティングボードも備えている。



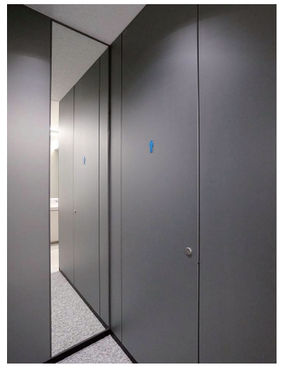


基準階 女性トイレ
フィッティングルーム

女性トイレに、フィッティングルームを1ヶ所設置。靴を脱いで利用でき、全身鏡と手洗器も完備。着替え、化粧直し、汗拭きなど多様な利用を想定しており、「男性トイレにも設置して欲しい」との声があがっている。

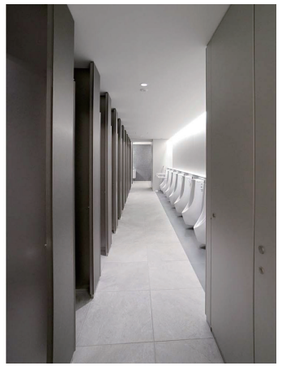
2026.05 作成　無断複製・転載禁止 ©TOTO LTD. 2026 All Rights Reserved 21338

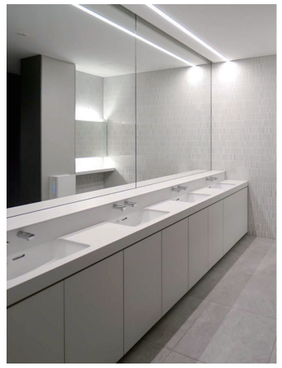
BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S



基準階 男性トイレ
入口・全体

男性トイレは、グレーを中心としたクールモダンな内装デザイン。トープカラーで温かみのある雰囲気の女性トイレとは少し印象を変え、すっきりと洗練された空間となっている。

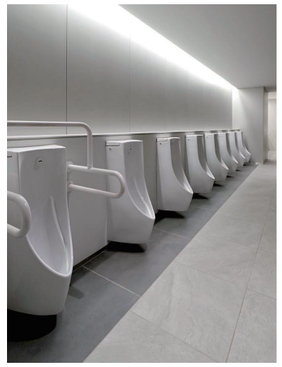




基準階 男性トイレ
洗面・
スタイリングコーナー

衛生的に手洗いができる自動水栓と自動水石けん供給栓を設置した洗面コーナー。女性トイレ同様、男性トイレにもスタイリングコーナーを設け、カウンターと鏡を備えている。





基準階 男性トイレ
小便器コーナー・
大便器ブース

シンプルなデザインと節水機能を両立した壁掛型の自動洗浄小便器を設置。大便器は、壁掛大便器セット・フラッシュタンク式と発電式エコリモコンの組合せ。小便器、大便器ともに、1ヶ所に手すりを設けている。

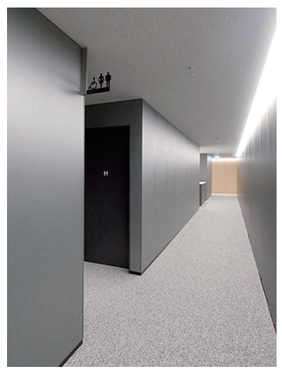




基準階 男性トイレ
セルフケアブース

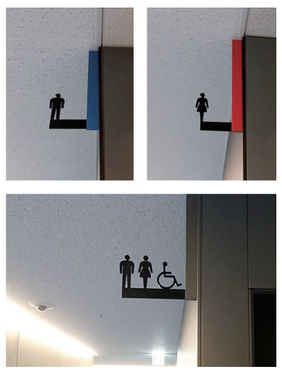
男性トイレにも、ベンチ付きのセルフケアブースを1ヶ所設置。尿・便漏れパットやおむつの替えなどの荷物置き場としても利用でき、ハンデを抱えている方などのさまざまな行為に配慮している。

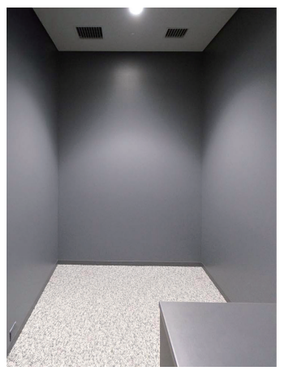




サイン

通路の奥からでも、トイレの場所がわかるように、突き出しのピクトグラムを設置している。

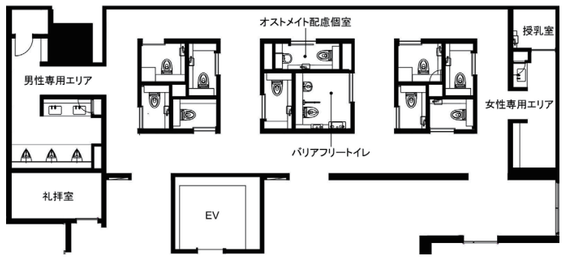




礼拝室

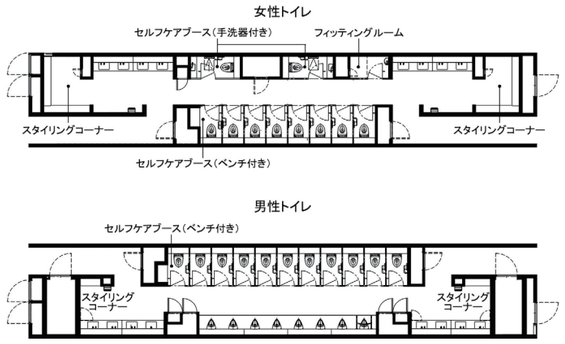
ムスリムなど、お祈りを必要とする方のために礼拝室を、7Fだれでもトイレの近くに用意。身を清めるための洗い場や、メッカへの方角がわかりやすいようコンパスも用意している。





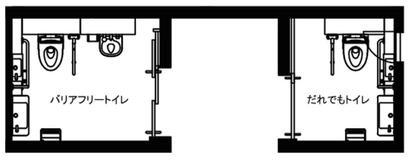
7F だれでもトイレ図面

7Fは、オフィスワーカーと一般の方が利用できる共用階。ワーカー専用エリアには男女別トイレ、共用エリアにはだれでもトイレを設け、利用者が選択できるようにした。個室は風車形状に配置しているため回遊が可能。



基準階
男女別トイレ図面

オフィス基準階の男女別トイレは、両方向に通り抜け可能な二方向出入りのレイアウト。女性トイレの長辺側に、手洗器付のセルフケアブースやフィッティングルームを配置し、女性ワーカーに好評である。



基準階
バリアフリートイレ・
だれでもトイレ図面

すべての基準階に、バリアフリートイレとだれでもトイレを配置。デスクから男女別トイレまで距離のある方にも配慮され、利用者を限定せずだれでも使用ができる。

水まわりの特長

建物の特徴

「BLUE FRONT SHIBAURA」は、浜松町ビルディングの建替を含む大規模複合開発事業として、野村不動産と東日本旅客鉄道が共同で推進する区域面積約4.7ha、延床面積約55万㎡の約10年間におよぶ計画。世界的建築家である槇文彦氏を設計者に迎え、高さ約230mのツインタワーと旧芝離宮恩賜庭園から連なる緑や芝浦運河を活かした低層部からなる国家戦略特別区域計画の特定事業である。都心とベイエリアを“つなぐまち”として、コンセプトは「TOKYO&NATURE」。ツインタワーのうち南側に開業した「TOWER S」は、7～33Fを占めるオフィスをはじめラグジュアリーホテル、商業施設で構成される。LEEDゴールドおよびWELLプラチナの環境認証を取得し、持続可能なまちづくりを実現する。

水まわりの特長

トイレのコンセプトは、気持ちが上向く「スイッチトイレ」。だれもが使いやすく、心身を整え、気持ちを切り替えられる空間を目指した。7F共用階には、男女別トイレのほか、性別を問わず利用できる個室完結型トイレを11室配置。バリアフリー配慮やオストメイト配慮などの機能を分散。さらに別途設けられた男性専用エリアには小便器コーナーとスタイリングコーナー、女性専用エリアにはスタイリングコーナーと授乳室を設置した。オフィス基準階にも、セルフケアブースや着替え専用ブースを備える男女別トイレとは別途、バリアフリートイレとだれでもトイレを設置。多様なワーカーや使用シーンに配慮。また清掃効率の最適化と維持管理の軽減を図るため、IoTを活用した「TOTO CONNECT PUBLIC」を採用している。

建築概要

名称	BLUE FRONT SHIBAURA TOWER S
所在地	東京都港区芝浦1-1-1
施主	野村不動産株式会社
設計	株式会社槇総合計画事務所、清水建設株式会社、 オーヴ・アラップ・アンド・パートナーズ・ジャパン・リミテッド、 株式会社日建設計
施工	清水建設株式会社
竣工年月	2025年2月
敷地面積	40,104.29㎡
建築面積	27,523.12㎡
延床面積	267,005.51㎡
構造・階数	鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コンクリート造・ 地下3階、地上43階

おもなTOTO使用機器

壁掛大便器セット・フラッシュタンク式:UAXC3C系
大便器ユニット:UTNCAA特
ウォシュレットPS（擬音装置「音姫」付きエコリモコン）:TCF5524系
ウォシュレットPS（擬音装置「音姫」付きエコリモコン）:TCF5534特
ウォシュレット アプリコットP（温風乾燥付きエコリモコン）:TCF5841AUP
棚付二連紙巻器:YH702
自動洗浄小便器:UFS900系
小便器ユニット:UTNUBN
洗面器ユニット:UTNLCC
手洗器ユニット:UTNM特
手洗器:L724
台付自動水栓:TLE35SM系
コンパクト・バリアフリートイレパック:UADAK系
コンパクトオストメイトパック:UAS8系
バリアフリーユニット:UTNDAA、UTNDBA
クリーンドライ（ハンドドライヤー）:TYC420W
フィッティングボード:YKA41R
TOTO CONNECT PUBLIC ゲートウェイ:TYSG1000 V1
TOTO CONNECT PUBLIC 無線モジュール:TYSM2000

2026.05 作成　無断複製・転載禁止 ©TOTO LTD. 2026 All Rights Reserved 21338